

高松市公用車へのEV導入および実質再エネ電力の供給 に係る契約の締結について

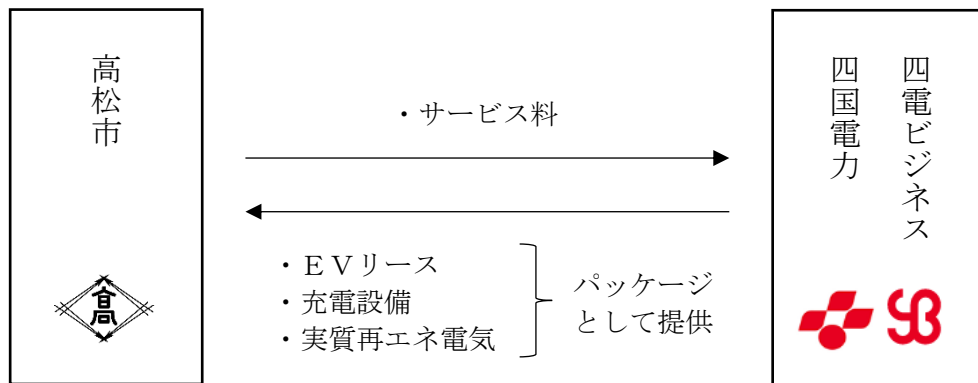
高松市（市長：大西 秀人）、四電ビジネス株式会社（代表取締役社長：山崎 達成）、四国電力株式会社（取締役社長 社長執行役員：長井 啓介）は、高松市公用車へのEV導入と非化石証書を活用した実質再生可能エネルギーによる電力供給に係る契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約締結による各々の役割は以下のとおりです。

- ・高松市は、公用車として7台（防災合同庁舎に3台、香東川浄化センターおよび東部下水処理場に各2台）のEVを導入・運用し、EVや充電設備の利便性等を検証しつつ、将来の導入拡大や災害時（停電時）における非常用電源としての活用に向けた検討を行い、ゼロカーボンシティの実現と地域のレジリエンス強化に向けた施策を推進します。
- ・四電ビジネスは、高松市にEVと充電設備をリース提供します。また、防災合同庁舎の3台については、四国電力が提供する再生可能エネルギー由来の非化石証書を活用した「実質的な再生可能エネルギーの電力」をパッケージにして高松市に提供します。

高松市、四電ビジネスおよび四国電力は、EVや再エネを活用した環境に優しく、災害に強い持続的なまちづくりを推進し、カーボンニュートラル社会の実現とSDGs達成に向けた取り組みを更に強化してまいります。

【防災合同庁舎の契約スキーム】



【導入車両等】

	導入車両等	主な仕様
車 両	三菱自動車工業(株) ミニキャブミーブ (7台)	車載電池容量 16kWh
充 電 器	(株)ジゴワッツ 普通充電器「Ella」 (7台)	定格出力 3.2kW